

本学学生・教職員のみなさまへ

咽頭結膜熱(プール熱)に注意しましょう！！

1. 咽頭結膜熱(プール熱)の特徴

- ・ アデノウイルスの感染により起こります。
- ・ 患者さんからの咳(飛沫)や汚染した手指(接触)から感染します。

2. 咽頭結膜熱(プール熱)の症状

潜伏期: 感染してから4~7日です。

高熱: 発熱(38~40度)、せき、鼻水など「かぜ」に似た症状が続く。

咽頭炎: のどが赤くなり、痛みを伴うことが多い。扁桃腺炎もよく伴います。5~7日で症状は軽減します。

結膜炎: 両側または片側の結膜が赤く充血します。眼が痛い、目やに、光がまぶしいなどの症状もあります。

その他: 一般的なかぜの症状(頭痛、寒気、食欲不振、せき、鼻水、リンパ腺の腫れ)があります。

3. 咽頭結膜熱(プール熱)患者に接触した場合の対応

うがい・手洗いが有効です。

タオルなどから感染することもあるので、個人のものを使用しましょう。

4. その他の注意事項

- ・ 学校保健安全法により、「咽頭結膜熱(プール熱)」と診断されたら主要症状が消失した後、2日を経過するまでは出席停止。」となっています。

お問い合わせは各キャンパス保健センターまで

戸畑:093-884-3065

E-mail:hok-hoken@jimu.kyutech.ac.jp

飯塚:0948-29-7513

E-mail:hok-jhohoken@jimu.kyutech.ac.jp

若松:093-695-6017

E-mail:hok-sehoken@jimu.kyutech.ac.jp